
よくわかる（らない）魔装機兵（1）

T A K E

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よくわかる（らいなー）魔装機兵（ー）

【Zコード】

N9122Y

【作者名】

TAKE

【あらすじ】

今回で第4回となりましたチラシ裏コラム、始まります。

魔装機神ともなると乗り手を選びます。

「まんまホステスじやZEEEか」

B級以上の魔装機兵は操者のコンディションを大きく反映します。
「タチの悪い女みたいな兵器だな・・・」

今回も始まりましたチラシ裏コラム第4回。

今日も魔装機兵はすごく不便な兵器です。

乗り手で能力が変動するなんて詐欺だー。

魔装機兵を構成する根幹要素に「プラーナコンバーター」と「リアクター」があります。

プラーナコンバーターとは生体生成・魔力変換器と考えていただきたい、リアクター（動力）で生成された魔力に別系統の魔力を注入されるものです。

1 フルカネルリ式永久機関（生体プラーナ混合增幅方式）
出力 $0 \text{ kW} \sim 30000 \text{ kW}$ （理論上は ）

技術の成立は魔装機兵よりも古く、中世頃に先史文明よりサルベージされた技術。

導入初期は魔剣や神剣のコアとして利用され、対人戦闘に絶大な威力を発揮した。

近代史に移り、銃火器と魔術の発展によって、兵器として主役の座を追われることとなる。

最大の問題点は機動兵器に搭載するコアストーン製造の技術的問題である。

コアには契約精霊と親和性の高い宝石を使用するのだが、30メートル級の機動兵器を稼動させるためには30cm以上の単一の宝石が必要となる。

自然算出される宝石には限りがあり、何より高価である。複数の宝石を結合させたコアが試作されたが、それに精霊が宿る事は無かつた。

鍊金術の発達により、工業用宝石製造技術が発達し、少ないながらも30cm以上の巨大な宝石が製造されるようになり、コアストーンは機動兵器に搭載できる性能を持つようになる。

このコアストーンに術式を印字する技術と精靈と契約する技術は高度なものであり、どちらかが欠けても魔装機兵の製造は不可能となる

2-オルフィレウス式永久機関

出力800kW~1300kW

エーテルを電力に変換する技術であり、多くの機械の動力として利用されている。

エーテルそのものが枯渇しない限り永久に稼動し続ける事ができる。（電力変換時の熱や負荷が機械を磨耗させていくが）

反面自然界の影響を受けやすい動力であり、エーテル密度の変動に弱い。地域によってはエーテル密度が薄い場所も存在し、そういう場所ではディーゼルエンジンなどが代用される事もある。

ファン（プロペラ）によって機械的に空気とエーテルを取り込む方式が長らく採用されていたが、幽体であるエーテルを効率よく取り込む方法ではなかつた。

そこでフルカナルリ式永久機関と同様に、工業用宝石をコアストーンとして動力に接続し、精靈と契約させた。

こうした事によりエーテルと同じ幽体である精靈がエーテルを取り込むようになった。

C級以上の魔装機兵は精靈と契約した動力を持つてるので、地域のエーテル密度の影響を受けにくくなつた。

オルフィレウス式永久機関が高位精靈と契約することが出来ない理由は、コアストーンの印字と精靈契約の技術を完全に持つているわけではないからである。

3-プラーナコンバーターの登場

一つの方式はどちらもエーテルを精靈に投入するのだが、決定的

に違うことは更にプラーナを混合するか否かである。

精靈にエーテルを投入し、更にプラーナを混合すると爆発的な出力を生み出す。

しかし過度にプラーナを投入し続ければ動力は暴走を始め、生成された電力や熱に対し機体が保持できない事となる。

機械的にプラーナの混合を行うために、プラーナコンバーターが発明された。

後にオルフィレウス式永久機関もプラーナコンバーターに対応し、動力に僅かだがプラーナを混合している。

4 使い手の激減

フルカネルリ式永久機関は出力の向上に大きく貢献したが、同時に使用者を制限してしまった。

操縦者から榨取されるプラーナ量が多大であり、ラ・ギアス人には安定稼動させる事が難しくなったのだ。

人体が自然生成するプラーナの量と消費する量が消費に傾き、操縦者を衰弱させる事故が何度も発生した。何度も実験を経て操縦者が無事なケースが何度も発生し、彼らの先祖が地上人だったことから、魔装機神の操者が地上人から選出される事となつた。

後にプラーナコンバーターの出力が落とされたものが作られ、多くの高性能魔装機兵が製造される事となる。

プラーナコンバーターの出力の大きいA級以上の魔装機兵は、精靈本来の能力が現界し、搭乗者に様々な能力付与を行う。（幸運値の上昇や宿命の排除など、先天的に設定され人力ではどうにもならない部分の修正が大きい）

（ティツティは思慕した人物を全て失っているが、結果的に生存している。これはガッデスによつて宿命排除のパラメーター修正が行われた結果である。 操者の意に沿う形で能力が発現しない傾向がある。）

操者のプラーナ・コンディションが影響する事はB級以上の魔装機

兵には当てはまり、魔装機兵の能力が修正される。

5 魔装機兵のカテゴリー

精靈契約有り

A+級 聖位精靈と契約している（闇・イスマイル）

A級 高位精靈と契約し、機兵に人格が宿っている（四大魔装機神）

A-級 高位精靈と契約しているが、機兵に人格が宿っていない（大地・エウリード、火・ジンオウ）

B級 低位精靈と契約しているオリジナル（量産原型）魔装機兵（森・ディアブロ、水・ギルドーラ）

C級 低位精靈と契約している量産モデル（火・バフォーム、風・ガディフォール）

精靈契約無し

（A-級相当）

?級 契約精靈無し（無・デュラクシール）

D級 契約精靈無し、前世代量産機兵（ルジャノール改、グラフドローン、レンファ、ナグロッド）

A級以上の魔装機兵は全世界で20程度しか生産されておらず、LOE第二部でシユテドニアス連合は多くのA-級魔装機兵を失った。同時に希少な高能力操者も多数失っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9122y/>

よくわかる（らない）魔装機兵（1）

2011年11月27日11時56分発行